

11月23日：VN指数は1年ぶりの高値に到達

昨日VN指数は5日続伸し、0.42%高の994.19ポイントを付け、昨年11月21日以来の高値を付けた。

VN指数が参照しているホーチミン取引所の流動性も急上昇し、売買代金は10兆53百億（4億54百万米ドル）に達し、過去数年で最大水準となった。

同市場では、243銘柄が上昇したのに対し下落は188銘柄で、19銘柄がストップ高を付けた。

大型株上位30銘柄で構成するVN30指数は0.96%上昇し、売買代金の55%を占めた。30銘柄のうち上昇は17銘柄、下落は10銘柄だった。

鉄鋼のHPGが5%、宝石小売りのPNJが4.2%、家電メーカーのREEが3.5%上昇するなどした。民間商業銀行のSTB、TCBはそれぞれ3.2%、0.9%上昇したが、銀行セクターで上昇したのはこの2行のみだった。

他には大手証券のSSIが2.7%、家電小売りのMWGが2.2%、エネルギーのGASが2.1%などの上昇が目立った。

不動産セクターも多くの銘柄が買われた。TCH、VHMがそれぞれ+2.7%、KDHが+0.6%、ROSが+0.5%、NVLが+0.2%上昇した。

国営銀行はもっとも振るわなかった。資産規模で最大の3行であるVCBは-1%、CTGが-0.9%、BIDが-0.2%、中堅のMBBが-0.2%それぞれ下落した。

民間銀行も振るわず、EIBが-0.6%、HDBが-0.2%、VPBが変わらずで引けるなどした。

石油・ガスセクターでは燃料販売のPLXが0.2%下落した。しかし、電力のPOWは0.3%上昇した。

中小型株が中心のハノイ取引所では、HNX 指数が 0.66%、UPCOM 指数は 0.39%それぞれ上昇した。

7週連続の売越しを経て、外国人投資家は4日連続で買越しに転じ、この日は1,350億ドンを買越した。VHM、HPGなど大型株を中心に買われた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。